

山桜の里 戸赤

講習会

花豆栽培

戸赤産のベニバナインゲン(花豆)

「自信を持ってお菓子になると思う。」

平成21年度福島県地域づくり総合支援事業

本日17日
花豆製品仕入
試験販売開始

「味が濃い、ホクホク感が強く栗のようだ。」と豆加工会社の松崎さんは自信を持ってお菓子になると、太鼓判を押しています。
戸赤の花豆(ベニバナインゲン)を原料とした試作品ができ、一月二十五日の講習会で披露されました。三月十七日には販売用の製品が入荷し販売も始まります。



ここでは手作業なので北海道とは違って完熟のものをそろえることができる。小規模でも高品質の産地となる可能性は大きい



煮豆と甘納豆の間あたりの食感になった試作品

講習会では、講師五人を招き地元から栽培希望者十四人が参加し、前回の花豆栽培の実態調査アンケート結果と、栽培計画案が農林事務所から報告を受け、次回実施案をまとめることになりました。同時に試作品の「花豆すいーつ」を試食しました。予想以上のおいしさに参加者は意外の成功と、早くも来年への栽培に意欲を膨らませていました。ラベルのデザインも気に入って、商品化に一步近づきました。今年度事業では計画作りをし、二十二年度からは花豆の栽培と加工販売に直接関係する事業を実践することになります。



大粒のものは4cmもある。無農薬栽培ともいえる原料は食の安全にとって大事な要素

花豆栽培(案) 1 生理・生態 花豆は冷涼な気候を好み、特に開花結実する7月下旬から9月下旬の気温の低い場所が適地となる。適地でも10%程度であり標高400とんど結実しない。種子は自家が、長年の栽



左大粒、右小粒

結実率が非常に低くm以下の地域ではほ採取が行われているので小型化する傾向が見られるので、種子の更新も必要である。品種間交雑が起こるので、特に白花種との混植は避ける。2主な作形 戸赤地区では早生と晩生の2種の作形が栽培されている。ポットで3週間ほど育苗した後定植する。早生は5月上旬に播種し8月中旬から初霜の降りる10月下旬まで収穫する。晩生では5月下旬に播種し9月初旬から初霜の降りる10月下旬まで収穫する。早生で直播する場合には晩霜を避け5月下旬に圃場に播種する。(講師：農林事務所農業振興普及部) 次号に続く

今回加工して改めてわかったことは、栽培者が完全に熟したものを収穫する事と、乾燥を同じくすることの大切さです。今年はお互い畑を巡回して、みんなが揃って高品質の原料を提供することができるよう何回か勉強会をしようとして申し合わせました。

ラベルの基本デザイン





広場に計画中の看板

県の100選に戸赤登録される



臨時の看板

多目的広場の舗装、学校駐車場出入口の整備、学校に開設している奥会津写真館への案内看板など、県の「美しく豊かな観光資源の価値を高める地域づくり」事業で実施してもらっています。月早々に協議することになりまし

広場の舗装など協議の場へ 建設事務所が地域づくり事業で

役員会で3.21の総会準備



区長、副区長、会計、生産組合長、保健委員、保健補導委員の任期満了による役員改選も議題となる総会に向け3月13日役員会が開かれました。総会は3月21日午前9時から集会所で開催されます。入山券の販売功労者表彰は前年度総会で改正されたため3人から5人となります。

会津地域雇用創造推進協議会主催事業 平成22年度木地と漆講習会日程(案)

- 1回 5月 15・16
 - 2回 6月 12・13
 - 3回 7月 17・18
 - 4回 8月 7・8
 - 5回 9月 11・12
 - 6回 10月 16・17
 - 総合講座 11月 3
- 詳しくは、後日お知らせします



2・22 福島民報

この組織は、戸赤、新聞、三ツ井、中山、大内、倉水、小池、板蕨、成姫までを戸石川流域として連携し、交流事業の展開を目指しています。2・23 福島民友

100選に58団体 地域コミュニティに 取り組む住民団体など



中山雪月火まつりは、地元紙にも大きく掲載され、一晩ではもったいないという声も聞かれました

勉強コーナー



(民間非営利団体) 就任承諾・誓約書 など

定款案(その17)

赤色文字：協議事項

(法第10条第1項関係様式例) 特定非営利活動法人 御中

年 月 日

就任承諾及び誓約書

住所又は居所 氏名

私は、(特定非営利活動法人の名称)の理事(又は監事)に就任することを承諾するとともに、特定非営利活動促進法第20条各号に該当しないこと及び司法第21条の規定に違反しないことを誓約します。

(住所又は居住の欄は住民票等によって証された住所又は居所を記載する。)